

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨	回答などの要旨／●12月末の状況	即応
■【出原】 9月13日開催							
出原	1	総務課	自治組織	質問	①高森町全体を見ても常会の加入率は低い。町として加入にあたり具体的に何かしているか。 ②長い目で見ていくと自治体の活動は出来なくなるのではないか。これという決め手はないけど、長いスパンで考えて欲しい。 ※町長の質問に対し区長より回答 区費の免除はなく出労免除、出不足はなく、出勤手当は払う。山作業の出席率は年々下がっている。75歳以上で免除が出来る。75歳以上でも出てきている。	①新たに転入してくる人に自治組織に加入していただけるよう、窓口で手続き時に該当自治会を案内したり、不動産事業者も協力して住宅造成等やる場合に常会加入の条件をつけていただくことで住宅建築補助金の加算をしています。 ②中学→高校→大学と進む中で、子ども達が都会の雰囲気の方を地方より好きになっていきます。一時期よりは地元に帰ってきてくれる子も増えていますが、地域の人たちに育てていただいたという気持ちを持ち続けてもらえるよう、これからも地域人材教育などの取り組みをしています。 ※町長より区に質問 お年寄りに対する免除等がありますか。	
出原	2	総務課	自治組織	質問	常会の加入について、下市田地区や牛牧地区は非常に苦労していた。具体的に解決できないままになっている。高森町だけでなく、どこの市町村でも問題。区や常会に入っても、メリットがないため、格差をつけて欲しい。区に入っでのメリットを見つけてもらいたい。	本来は、自治会というものは損得勘定で入るものではないと考えます。現状の様々な課題は分解し整理し考えていく必要があると考えています。その上でまずは人と人とが繋がることが大切で、一つの方法として、未加入の人にも夏祭り等の案内を出すなど、地域の触れ合いや体験の場にどなたでも参加できる環境をつくっていくことが大事だと考えます。	
出原	3	総務課	自治組織	質問	柿の里スクールのときに、自治組織に入っていないお子さんは夏祭りに呼ばない地域もあると聞いたが実際にどうなのか。	ほとんどの地区では常会に加入未加入等で線引きはせず、子供たちに夏祭りに来ていただいていると思います。そういった場が加入のきっかけの一つになると思います。逆に呼ばないことが加入促進につながるとはならないと考えます。	
出原	4	総務課	自治組織	質問	自治組織の未加入が増えているが、今まで加入していた人が脱退する人はいるのか。町からの広報資料はどうしているのか。	今まで加入していたが高齢者等で自治会の活動が出来なくなり個人や組合単位で脱退した例などがあります。 広報については、加入未加入に関わらず町からの広報やお知らせ版、議会だより等の情報は、町HPを見ていただくかコンビニや支所に置いてあるものを取っていただくことを基本としています。自治会加入の方は協力をいただき回覧していただいております。昔は未加入者の方には郵送していました。	
出原	5	総務課	自治組織	質問	今の状態の中で、災害時に安否が確認できないのが問題。新しい人がどこに何人いるのか確認できない。災害があった時にどうするか。区とのつながりが必要。入ってくれないから必要ないではなく、本当に起きたときに困らないようにしてほしい。	熊本地震では震災後の加入者が増えたとのこと。町としてもすべての住民の安否確認の対応が必要ですが、自治組織が全てを確認することは難しいと思います。同じ地域に住む住民としてできる範囲で声掛けなどを行っていただきたいと思います。町は地域に加入することは災害対応の面で重要であることも啓発してまいります。	
出原	6	総務課	自治組織		転勤時の経験から、長野市では入居時に自治会に入るという条件があり自治会に加入していた。 転入の入り口で話をして欲しい。	不動産業者には新築を建てる時に自治組織の話をしていただいています。前向きに理解いただいている転入者もいます。転入手続き時にも自治会をPRしています。ただし、自治会は任意の組織であり町が強制することはできません。地域では関わりやすい参加しやすい自治会の雰囲気づくりも進めたいと思います。	
出原	7	建設課	河川の維持管理	質問	MIZBEステーション 田沢川があるが大丈夫か？	田沢川の護岸整備は完了しています。流れがなだらかになるようになります。現在、天竜川の下流側から未完成堤防を完成高とするよう整備が進められており、よほどのことがない限り溢れることはないものと認識しています。	
出原	8	建設課	土地利用対策	質問	MIZBEステーション、サッカー場、ドンキ等出来て、あの周辺の開発計画はどうなっているか。	商業地域等北側の土地利用計画を進めており、今年度中にまとめていきます。山吹区から住宅施策の依頼がありますし、吉田にある県営住宅の老朽化の課題もありますので、あわせて検討しています。	

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨	回答などの要旨／●12月末の状況	即応
						出原区として、守るべき農地をどう考えるか、広域農道沿線や処理場をどうするのか等、土地利用と一緒に考え、話し合いをしていきたいと思います。	
出原	9	建設課	かわまちづくり事業	質問	MIZBE ステーションの管理はどこがされるのか？	用地の内訳として町有地と国有地があります。町が管理する部分については運営を担ってみたい事業者を応募の中から候補者を選定し一緒に計画を立てています。レストラン棟などを建築し収益事業を行いながら、全体を管理していただく計画です。 サッカー場とクラブハウスは別で募集を行っています。イベントの収益は見込めますが、体育施設としての機能には使用料が過重とならないよう、町として指定管理料を支払うこととなります。 MIZBE ステーションもどれくらい収益があるかわからないため、まだ試算は出来ていない状況です。	
出原	10	建設課	土地利用対策	質問	都市計画は白地。すみわけがうまくできなくなるのでは？	これから3年間をかけて町都市計画マスタープランを策定し、都市計画を見直していきます。都市計画に網を掛けると規制がかかることになるので、白地をどのように見直すのかについては最終的に検討していくことになります。国道153号線号線の沿道には既に制限がかかっています。	
出原	11	建設課	かわまちづくり事業	質問	MIZBE ステーションの出入口は信号がつくのか。	現在、検討中です。県と警察と事前の交差点協議を行っていますが、既存信号機との距離が短いなどの指摘を受けています。	
出原	12	産業課	農地の保全と活用	質問	農地の件で、荒廃地が増えている。老夫婦でやっている人が多いため、これからの農家は難しい。高森の中は法人化がありません。上段地域は果樹が主体であり、これから5年10年の間に法人化、町ゆうきやJAを含めて検討していただきたい。	従来全町で設定した人農地プランを地域計画という形に改め作っていくことが国全体で求められています。地域の農地を10年先にどう利用しているのか、中核となる担い手はどうなっているか、などを地域の皆さんで議論し定めるものです。併せて新たな担い手を作っていくという取り組みです。 果樹は集落営農による法人化・大規模化が難しいと聞いているため、農家の皆さんにご意見をいただきたいと考えています。下市田河原といった水田地域の方は考えやすいとは思っています。 ゆうきも役割を見直す中、力を発揮していかなければなりません。組織の中で検討しています。	
出原	13	建設課	道路の維持管理	質問	上伊那の駅前はきちんと整備されている。下伊那は変わっていない。駅前の開発を考えていくのはどうか。	それぞれの駅が持つ機能・役割によって考えたいと思います。まず、下平の駅は駐車場等整備を考えなければならないですし、九頭竜からMIZBE ステーションまでの歩道整備等の要望をいただいているところです。	
出原	14	建設課	リニアアクセス道路	質問	下市田の駅から飯田方面に飯田線と国道153号線号が平行で線路と道路との離隔が短く土地が商業施設に使えなくもったいない。	国道の改良は、リニア県駅北改良として座光寺まで進められていますが、そこから飯島町・伊南バイパスまでの間は行われていません。河原側へ道路を振っていくのはなかなか難しいと思います。いずれにしても、これから県と協議を進めていきます。	
出原	15	産業課	商工業振興	質問	事業等やりたい方等の情報は入ってくるのか。	何件か提案はあったり声は掛けているけど具体化に至ってはいません。 地域にとってふさわしいものであるか、何でもよいというわけにはいかないので、地域の皆さんで話し合いが出来ればよいのではないかと考えます。	
出原	16	産業課	鳥獣害対策	質問	有線で爆音機がうるさいとか流れているが、サル対策で爆音機は農家にとって大事なもので理解してもらいたい。 サル対策のために爆音機を置いてほしい。	現在、「爆音機のなる時間帯設定に気を付けてください」という告知と「爆音機が農業に必要なものでご理解ください」というものとを流しています。 サル問題を真剣に考えて、知恵を出し合ってもらって捕獲する方法を考えていかなければなりません。	
出原	17	建設課	道路の維持管理	質問	県道飯田飯島線に樹木が出てきているので何とかしてほしい。	交通安全の担当と注意喚起をさせていただきたいと思います。具体的な場所があれば教えてください。	

地区	番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨	回答などの要旨／●12月末の状況	即応
出原	18	総務課	消防・防災	質問	役場と社協に災害時の備蓄米がある。期限が切れるタイミングで譲っていただければいただくことはできないか。避難体験や訓練に利用したい。	お米は社協である程度持っていますが期限が近付いているものはフードドライブの一環として、生活困窮者に配布しています。●非常食は役場ストックの更新のタイミングによっては提供できる場合もあります。ご相談ください。	
出原	19	産業課	土地利用対策	文書	30 年前にフルーツランド構想を考えていたが、他人の土地に勝手に線を引いてはいけないと言われたのです。でもこの時の構想で旬彩館が出来て、イチゴ組合が出来ました。今後も出原区で頑張っていきます。		
出原	20	環境水道課	太陽光発電	文書	各家庭に太陽光の導入依頼があるが、町としての見解をお聞きしたい。今後休耕地が増えて来るが・・・	戸建て住宅への太陽光発電設置（再生可能エネルギーの利用拡大）は、2050 年カーボンゼロを達成するために非常に重要な対策と位置付けており、国の交付金を活用し補助を行い、設置促進を図ってまいります。屋根以外の太陽光発電設置については、「適正導入の手引き」に従い調和等に努めつつ、普及促進に努めてまいります。	
出原	21	産業課	商工業振興	文書	高森町の観光事業について	これまで実組織のなかった町観光協会に専任職員 2 名を配置し、温帯の館内に拠点を設置しました。座光寺 SIC・リニア県駅との近接や三遠南信道路開通などを見据え、観光への取組みを強化していきます。8 月には市田灯籠流し煙火大会を催行し 11 月には第 2 回高森音楽祭を主催します。町民の皆さんにも人が訪れることで生まれるつながりを体感していただきたいと考えます。	
出原	22	総務課	まちづくり全般	文書	今後の実効可能な良い町にしていける課題に取り組みたい。	ありがとうございます。目の前の課題解決だけでなく。次世代の子供たちのため未来のための課題解決を地域の皆さんと一緒に考え実行してまいります。	
出原	23	総務課	消防・防災	文書	火の見やぐら不要とのことで各地区で撤去されていますが、消防の歴史として一基くらい残しても良いと思います。	使用していない火の見やぐらの維持管理は各地域でも課題となっており、撤去している地域もあります。あり方についてはぜひ地域内で議論していただきたいと思います。町内では道路拡幅の支障となった火の見やぐらの撤去か保存かを自治会内で話し合い、保存することとして移設した例もあります。	
出原	24	総務課	消防・防災	文書	貯水池の管理は誰が？泥がたまり実際の使用は不可能な状態。	既に区でも場所・要望内容ともに把握しており、令和 6 年度の地区計画に掲載予定と伺っています。地区計画のヒアリングの際に詳しいご要望を伺ったうえで、今後の対応については区と協議いたします。	